

# 猪股徳一作曲集

第I集



¥450

津軽書房

推薦の言葉———清野 健

戦後の音楽教育は、戦前に比べてまことに広範囲な内容に切りかえられて、指導者自身の実力にまつものが非常に大きくなりました。この変動期に、本県の音楽教育界をよく支えて下さったのが猪股先生でした。猪股先生は早くから童謡作曲を続けられ、その作品は、本県はもちろん全国的に良教材として愛唱されたのは周知の事実です。このたび、その数多い作品の中から22曲を選び〈猪股徳一作品集〉第1集として刊行されますことは、長年同じ道を歩んできた私として心から喜びにたえません。小学生のために作られたこれらの作品は、どれをとっても歌いやすく、親しみやすい、子供心をよく捉えた曲ばかりで、学校で、家庭で楽しい音楽のひとつときをすごされますように、ここに推奨する次第です。

目 次

1	オカリナの歌	久保田 勇	4
2	子守歌	木村 主計	6
3	お猿さんのお家	葛原 しげる	8
4	小鳥屋さん(二部)	野田 しげみ	10
5	小僧と時計	齋藤 信夫	12
6	かねたたき(秋の虫)	野田 しげみ	14
7	われらの歌(二部)	戸 謙 三	15
8	ちっちゃい花	山口 春光	16
9	つるべ井戸	大 沼 惇	18
10	虫の国にも秋がきた(二部)	木村 哲男	20
11	柿の実は	原 知 一	22
12	動物園に秋がきた	中山 勝 善	24
13	朝がキラキラ	山口 春光	26
14	雨だれのうた	すがい ゆり子	28
15	風小僧	原 知 一	30
16	盆おどり	山 本 恵美子	32
17	露草の花(二部)	野田 しげみ	34
18	太陽がガラガラ	すがい ゆり子	36
19	雪のお客さん	中山 勝 善	38
20	人魚の歌	林 登	40
21	雪の子守歌	山口 春光	42
22	赤い自転車(二部)	大 沼 惇	44

## あとがき

今年の5月頃、東京にいる私の友人が「君も66歳になる、そろそろまとめてみてはどうか。そのことによって後進の誰かが刺戟を受けて更によいものを作るようだったら、何よりの仕合せではないか」と言ってくれた。私はその激励を有難いと思ひ、拙い作曲集の刊行を思い立った。

教壇生活が、主に小学校だったために、作曲したものも小学生向きが多い。どうにか選んだ66曲のうち22曲を第1集として編んでみた。66歳まで生きて、数えきれないほど作った中から66曲とはなさない話であるが、これも分相応なのかも知れない。

この作曲集を刊行するに際して、実に多くの方々にお世話をいただいた。記して感謝の意を表する次第です。

清野健、棟方昭三、小堀友彦、千葉弁夫の諸先生、虎谷順一、今広志の両君、本当に有難うございました。

(1971年10月)

## □著者略歴

明治37年弘前市に生まれる。昭和6年武蔵野音楽学校を卒業。爾来30有余年、小学校、中学校、高校教師として勤む。昭和40年弘前市立青柳小学校長を最後に退職する。現在武蔵野音楽大学同窓会青森県支部長、日本音楽著作権協会員。

弘前市出版助成  
昭和46年10月5日 印刷  
昭和46年10月10日 発行

## 「猪股徳一作曲集」 第1集

著者 猪 股 徳 一  
青森県弘前市桔樹野4-6-2  
装 幀 小 堀 友 彦  
発行者 高 橋 彰 一  
発行所 津 惟 書 房  
青森県弘前市品川町28番地  
印刷製本/小野印刷  
定価 450円